

〔2017年4月1日～2018年3月31日〕  
2018年6月発行

### CONTENTS

USHIO NOW! .....	P 2
社長からのメッセージ .....	P 4
特集 光のものがたり .....	P 8
事業の概況 .....	P10
CSRトピックス .....	P11
決算の状況 .....	P12
株主さまとともに .....	P14



女川のプロジェクションマッピング

# USHIO NOW!

ウシオ電機の今

## ウシオとは

1964年に産業用光源メーカーとしてスタートしたウシオは、新光源の開発、独自の光学技術の開発・応用に努め、ユニットや装置、システム、さらには光のソリューションを提供する「光創造企業」へと発展してきました。その光技術は、「あかり」の領域だけでなく、産業や科学技術の先端分野で「エネルギー」として幅広く利用され、数多くの「世界シェアNo.1」製品を誕生させるとともに、今日では、バイオや農業、医療、環境をはじめとした、新しいビジネスフィールドを開拓しています。

## ウシオのマーケット

### Electronics

半導体、フラットパネル、精密機器、電子部品、光化学、印刷、産業機器など

### Life Science

医療、自然環境、農業、海洋／漁業、セキュリティ、エネルギー、宇宙開発など

### Visual Imaging

デジタルシネマ／3D、プロジェクション・マッピング、バーチャルリアリティ（VR）／シミュレーション、監視／制御用映像表示システム、プロジェクター用光源、一般／商業施設用照明、景観照明・演出、ステージ／スタジオ照明・演出、オフィス・ドキュメント用光源など

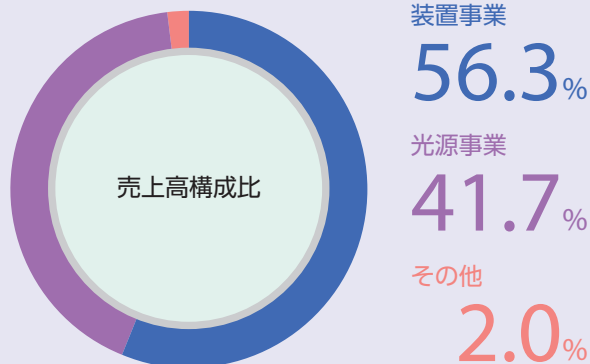
## 業績ハイライト (2017年4月1日～2018年3月31日)

売上高

1,734 億円

営業利益

101 億円



本資料では、切捨てによる億円単位で表記しています。

## グループ会社



### 【装置事業】

M-SAP向け直描式露光装置や電子デバイス向け投影露光装置の販売が拡大したものの、映像装置市場における競争激化により、減益となりました。

前期 ▶ 当期

売上高\*

976億円 ▶ **976**億円 ➡

セグメント  
利益

0.7億円 ▶ △**5**億円 ▼

### 【光源事業】

露光用UVランプ、データプロジェクター用ランプ、OA用ランプなどの販売が好調だったことにより、増収増益となりました。

前期 ▶ 当期

719億円 ▶ **724**億円 ↗

81億円 ▶ **104**億円 ↗

### 【その他】

成形機および食品関連機械において大型案件の増加が寄与し、増収増益となりました。

前期 ▶ 当期

32億円 ▶ **34**億円 ↗

0.4億円 ▶ **1.2**億円 ↗

※ 外部顧客への売上高を記載しています。

# 社長からのメッセージ



「光企業としての飛躍」に向け、  
引き続き収益構造改革と  
事業戦略を推進していきます。

代表取締役社長

浜島 健爾

## 2018年3月期の業績

2018年3月期の売上高は、前期比0.4%増の1,734億9千7百万円、営業利益は同18.0%増の101億5千1百万円、経常利益は同9.5%増の120億5千万円、親会社株主に帰属する当期純利益は56.2%増の110億1百万円と増収増益となりました。

装置事業では、光学装置においてM-SAP向け直描式露光装置の販売などが好調だったものの、映像装置では、シネマ分野において中国における固体光源（蛍光体レーザー）プロジェクター拡大により競争が激化したことから、装置事業全体では売上高は横ばいとなったものの、減益となりました。光源事業で

は、露光用UVランプは半導体やフラットパネルディスプレイ関連の設備投資が拡大し、稼働率も高水準を維持したことから、リプレースランプの需要が増加し、ハロゲンランプでは、OA用ランプは高付加価値な環境対応ランプの販売が堅調に推移したことにより、増収増益となりました。

なお、2019年3月期の売上高は、主に光学装置や露光用UVランプが増収に寄与し、前期比3.7%増の1,800億円、営業利益では主に映像装置の抜本的な収益構造改革が寄与し、前期比23.1%増の125億円となる計画です。

## 中期経営計画の進捗

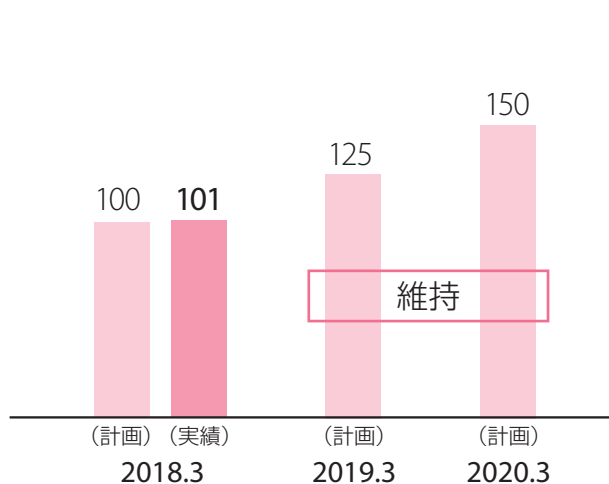
2017年5月にスタートした中期経営計画は2018年3月期で1年目を終了しました。本計画は「次なる飛躍への基礎固め」をテーマに、①既存事業の収益性維持・改善、②新たな成長機会の追求という2つの重点施策を進めています。

1年目を振り返りますと、既存事業において体質改善などの構造改革が進展し、競争力の強化が進み想定以上に貢献したものの、映像装置では収益が低迷したほか、新規事業も伸び悩みました。この結果、売上高については1,800億円の計画値に対し1,734億円の実績となり、対前期比で増収ではあったものの目標値には届きませんでした。一方で、中期経営計画の

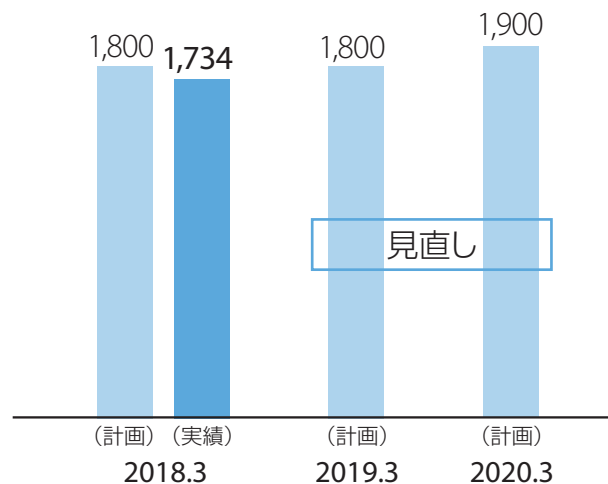
KPIである営業利益については100億円の計画値に対し101億円の実績となり、目標を達成しました。1年目の結果を受け、2年目以降の売上高については、2017年5月に公表した計画値を下方修正したものの、営業利益については、中期経営計画の最終年度である2020年3月期の目標値150億円は維持します。

引き続き既存事業の構造改革を継続するとともに、低迷した映像装置の抜本的な収益構造改革を推進していきます。また、新たな成長機会の追求では、技術開発やシナジーを重視したM&Aへ積極的に投資し、スピードと質のある新規市場開拓や新規事業の創出を進めていきます。

### 営業利益 (億円)



### 売上高 (億円)



# 社長からのメッセージ

## 「光企業としての飛躍」に向けて

### ■ 新たな価値創造領域

ウシオは創業以来、強固な事業と光技術の両基盤を強みに、高付加価値な光ソリューションを提供し、多くの社会課題やニーズに貢献してきました。中計2年目は「次なる飛躍への基礎固め」を継続するとともに、今中期経営計画終了後の2020年以降を見据え、光ソリューションで社会に貢献する「光企業」としての

飛躍を目指し事業戦略を推進していきます。

「未来は『光』でおもしろくなる」をスローガンに、新たな事業領域として、①環境衛生(空気・水・ウイルス)、②先進予防医療(早期発見・早期治療)分野に注力していきます。また、事業化の加速に向けて、持続的成長につながる研究開発活動やシナジー重視のM&Aも積極的に行っていきます。

### 環境汚染の解決、食の安全など

空気・水をきれいに、感染を防止して、  
安心・安全な社会・環境をつくる

### 医療費高騰への対応、QOL\*向上など

\*QOL=Quality of life

人々が健康で豊かな社会をつくる

## 未来は「光」でおもしろくなる

強固な事業・光技術の両基盤を強みに、  
高付加価値な光ソリューションを提供する

### ① 環境衛生(空気・水・ウイルス)

人体に無害な222nm紫外線による殺菌

※222nm紫外線は独占実施権保有(コロンビア大学との契約締結)

172nmオゾンによる空間殺菌・脱臭技術

リアルタイム流水殺菌技術



業界シェアNo.1  
水銀レスUVランプ



水銀レスランプ方式  
オゾンナイザー



コンパクト  
リアクタ



照明型空間  
殺菌ユニット



コンパクト  
脱臭ユニット



オンサイト  
吸光度計



### ② 先進予防医療(早期発見・早期治療)

バイオチップなど機能性部品の製造技術

早期スクリーニング検査技術

バイオマーカー探索技術



光機能部品



バイオマーカー事業



## M&A戦略

M&Aを今後の成長に重要な方策と位置づけており、2018年3月期においては、ピアメカニクスの露光装置事業を買収しました。引き続き、“光”の新規市場開拓につながるなど、シナジー効果が十分に見込めるM&A案件に対し、中期経営計画において約400～500億円のM&A投資枠を設け、積極的に取り組んでいきます。

## R&D戦略

既存の“光”技術の活用範囲を拡大し、持続的成長につながる研究開発活動を積極的に行ってまいります。2019年3月期の研究開発費は、105億円(売上高比率5.8%)を計画しています。

## 株主還元について

ウシオグループは、株主の皆さまに対する利益還元が企業として最重要課題の一つであることを常に認識し、財務体質と経営基盤の強化を図るとともに、株主の皆さまに対し安定的・継続的な利益還元を行うことを基本方針としています。

2018年3月期の配当金は、経営環境や業績、株価水準、純資産配当率などを総合的に勘案し、前期と同様1株当たり26円としました。この結果、連結配当性向は30.2%、連結純資産配当率は1.6%となりました。

来期(2019年3月期)の配当金につきましては、さら

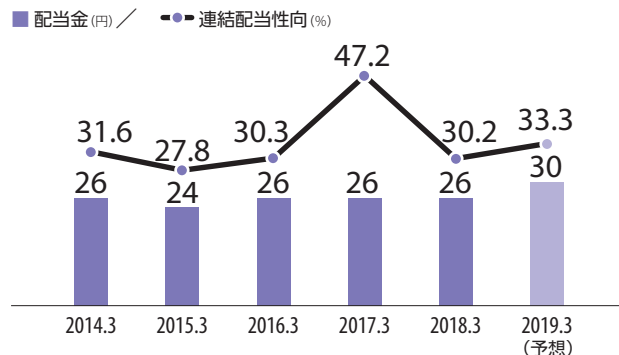
### 【ウシオのシナジー重視のM&A】

- ・新光源(固体光源)対応へのスピードアップに向けた買収
- ・既存技術・製品を活かす新規市場参入を加速させる買収
- ・ソリューション提案型へのビジネスモデル変革に向けた、ウシオにない技術・販売チャネルの買収
- ・高付加価値製品開発を加速させる買収

### 【ウシオの研究開発投資】

- ・高付加価値製品投入に向けた開発活動
- ・産学官連携(共同研究)による新たな波長ニーズの探索
- ・固有技術の応用・発展による新規市場開拓
- ・強みである顧客ニーズに適合した製品開発

なる株主還元の充実を図るため、4円増配の1株当たり30円とさせていただく予定です。





ウシオ電機の100%子会社であるウシオエンターテインメントホールディングスは、2018年3月17日に宮城県女川町のJR女川駅前で開催されたコラボ・スクール女川向学館の中学生が制作・実施するプロジェクションマッピングに、高輝度プロジェクターや照明演出機器などの機材協力を行いました。

東日本大震災の4ヵ月後に開校し、学習支援と心のケアを進めている女川向学館では、中学生が自分の興味を見つけ、将来を考えるキッカケとすることを目的とした「探究授業」をプロジェクト形式で行っており、このプロジェクションマッピングはその一環で行われたものです。



震災直後の女川町



イベント  
ダイジェスト映像



映像作品

**USHIO** ウシオ電機

100%

**USHIO**  
ENTERTAINMENT

**ウシオエンターテインメントホールディングス株式会社**

照明、映像、音響を融合させたエンターテインメント事業の強化を目的として、ハードとソフトを統合したソリューションを提供する統括会社

**ウシオライティング株式会社**

各種光源、ランプ、照明器具、照明機器、  
映像・ディスプレイ機器などの製造販売

**株式会社ジーベックス**

音響・映像システム、  
付帯設備などの販売、施工



# 川の新しい町づくりを応援

## プロジェクションマッピングの制作

女川の中学2年生の7名が映像制作、音楽制作、広報メディアの3チームに分かれ、プロジェクションマッピングに必要なプログラム作成や地域住民の集客ポスターなどを自分たちで制作しました。

映像では、海や空、桜、雪の結晶、花火、昼間の駅前風景など、中学生が生まれ育った「女川町の春夏秋冬」が映し出され、約200名の観客の拍手と歓声に包まれました。

ウシオエンターテインメントのスローガンは「Beyond (超える)」。光と音と映像でこれまでの表現を超えていくというメッセージが込められており、今回、震災による苦労や苦難を乗り越えてチャレンジする女川町の中学生の姿勢が、



ウシオエンターテインメントのコンセプトと重なったことが今回の協力につながりました。ウシオグループは、今後も地域の発展や子どもたちの教育に貢献していきます。

### 機材協力: 使用製品

#### プロジェクター



#### Roadster HD20K-J

■ウシオグループ会社のクリスティ・デジタル・システムズ社製のイベント・レンタルステージなどの用途に対応しているプロジェクター。光出力20,000センタールーメン、ウシオのクセノンランプを搭載することで輝度と色温度の両面で最高レベルのオンスクリーン性能を実現。



#### 照明器具

#### VAYA Flood MP RGB

■電源内蔵で、屋外電源盤を必要としない省施工を実現。優れた耐久性と防塵防滴性能を備えているため、屋外イベントでの照明によく使われている照明器具。目的にあわせて3種の配光(10°、20°、40°)から選択可能。

- 主催: 認定NPO法人カタリバ コラボ・スクール女川向学館
- プロジェクションマッピング制作協力: 一般社団法人イトナブ石巻
- 機材協力: ウシオエンターテインメントホールディングス株式会社
- 後援: 女川町教育委員会

# 事業の概況

## 装置事業

### 中期経営計画における戦略

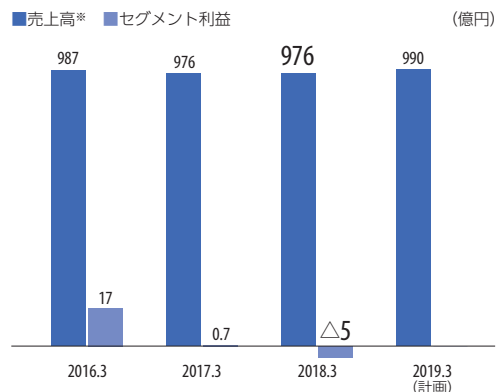
#### 映像装置

- 〈既存事業〉 抜本的な収益構造改革の実行  
ハイエンドな映像技術を核とするコア事業への注力
- 〈新規事業〉 高付加価値製品の投入  
エンターテインメント分野での事業領域拡大

#### 光学装置

- 〈既存事業〉 体質改善を継続（製品の標準化や製造工程のさらなるスマート化など）
- 〈新規事業〉 EUVマスク検査用光源  
光機能部品事業の本格稼働  
先端DI露光装置の開発
- 〈新事業領域（中長期目線）〉  
先進予防医療（メディカル事業+光機能部品など）

### 当期の業績と見通し

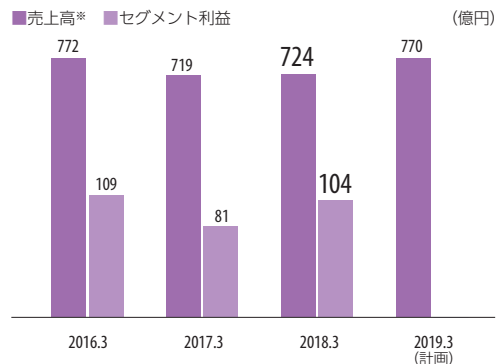


## 光源事業

### 中期経営計画における戦略

- 〈既存事業〉 強固な品質と競争力確保への取り組みを継続（さらなる製造工程の革新、高付加価値なプレミアムランプをラインナップなど）
- 〈新規事業〉 固体光源(LED・LD)の拡大
- 〈新事業領域（中長期目線）〉  
環境衛生分野

### 当期の業績と見通し



## クリスティカナダ※ カナダの環境保護活動をサポート

クリスティカナダ（以下、CDSC）はrareグループの創立メンバーです。2001年に創立したrare慈善リサーチリザーブは、ウォータールー行政区内のグランド川とスピード川が合流する900エーカー以上（3.64km<sup>2</sup>）の土地を保護・管理しています。



rare行政区内には、原生林や湿地など24の生息地の種類があり、生きた研究・実験室として機能しています。研究内容は教育プログラムを通じて子どもたちに共有され、生物多様性の重要性と環境破壊のない持続可能な世界の必要性について理解を促しています。また、rareは1,396m<sup>2</sup>もの広さのコミュニティ サステイナブル ガーデンを設立し、そこで育てた野菜などを慈善事業団体に寄贈しています。

CDSCはrareをサポートするリーダー企業として、rare行政区内でのガイドツアーや企業イベント、地元コミュニティでの講演やプレゼンテーションなどの優先アクセスを提供されています。従業員は、環境保護リサーチ、環境復元運動、サポート活動に自由に参加でき、企業や家族、コミュニティにおいて貴重な機会となっています。

※CHRISTIE DIGITAL SYSTEMS CANADA, INC.

## ウシオフィリピン※ Scholarship Program (奨学金制度) 導入

フィリピンでは、優秀な人材であっても経済的理由で学業を断念したり、また卒業後の雇用環境が良いとは言えないため、結果として海外に出て働くケースが多く見られます。

ウシオフィリピン（以下、UPI）では、社会貢献の一環として、2017年度から奨学金制度をスタートさせました。奨学生の候補者は、機械・電気・エレクトロニクスコースの4年生の工学学生（フィリピンの大学は5年制）で、2017年度は成績トップ10以内の学生3名と契約に至りました。

UPIでは、将来的にロボットなどを搭載した自動化・省力化設備の比率が増えていく予定のため、工学系技術者の確保と育成が必須です。

奨学生は2019年5月の大学卒業後に、UPIで2年間就業する予定です。その後も継続してウシオグループで活躍していただけることを期待するとともに、企業と大学、学生とのWin-Winの関係を築き上げていきたいと考えています。



※USHIO PHILIPPINES, INC.

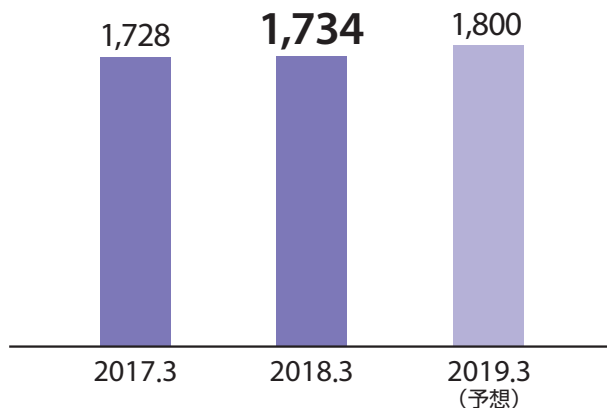
# 決算の状況

決算情報の詳細は当社ホームページに掲載しています。  
<http://www.ushio.co.jp/jp/ir/>

## 売上高・利益の推移 (億円)

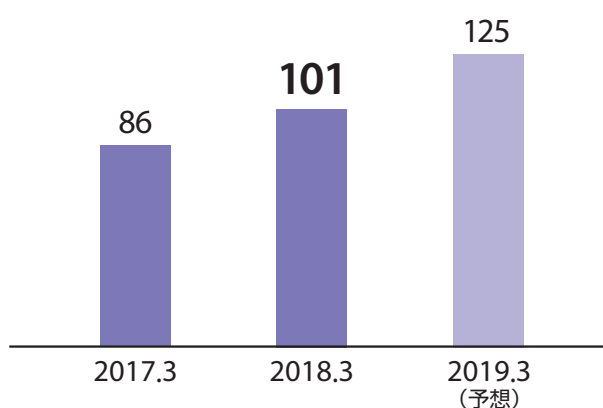
### 売上高

前 期 比 +0.4% ↑



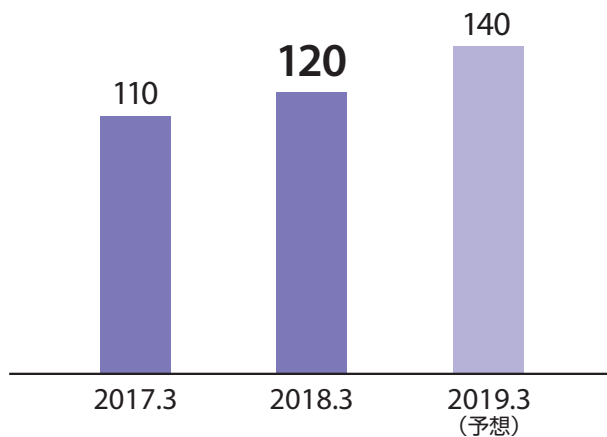
### 営業利益

前 期 比 +18.0% ↑



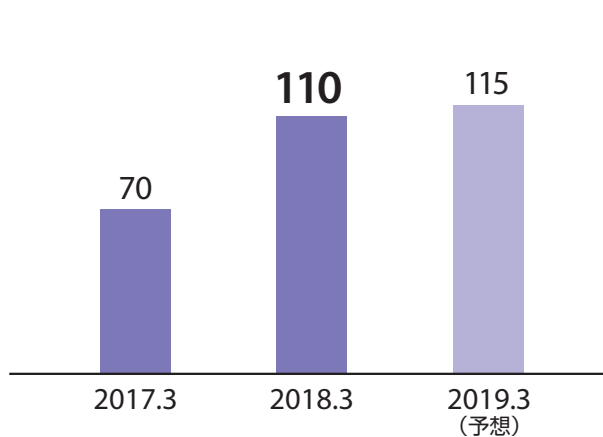
### 経常利益

前 期 比 +9.5% ↑



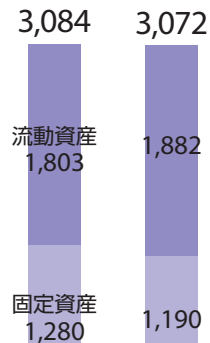
### 親会社株主に帰属する当期純利益

前 期 比 +56.2% ↑



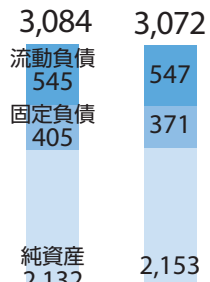
## 貸借対照表、キャッシュ・フロー (億円)

### ■ 資産の部



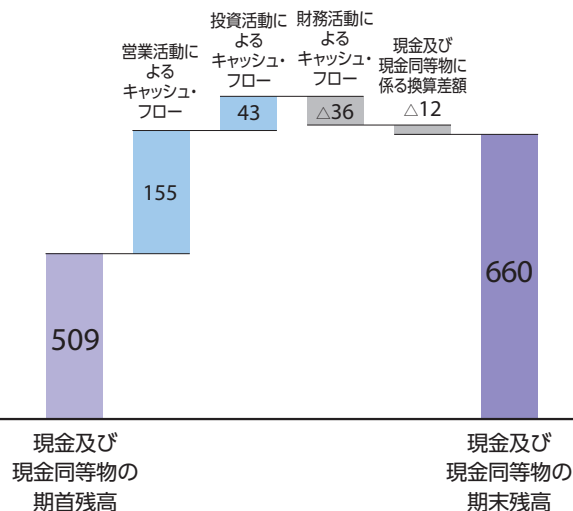
2017.3 2018.3

### ■ 負債・純資産の部



2017.3 2018.3

### ■ キャッシュ・フロー



## アナリストの視点

2018年3月期は前期から増収増益となったが、売上高においては映像装置(クリスティグループ)の収益低迷を主因とし、当初計画に対して未達となった。これによって、2017年5月に公表した2019年3月期と2020年3月期の売上高予想を下方修正するに至っているが、KPIとしている営業利益目標は維持する方針だ。2019年3月期以降の回復に向けて、映像装置の大胆な収益構造改革を実施する必要があるだろう。すでにウシオ電機単体においての構造改革で確かな成果をあげていることから、映像装置においてもその実行力に期待したい。

新たな成長機会として位置づけている新規事業においては、装置事業、光源事業ともに着実に進捗はしているものの、スピード不足により予想に対しては伸び悩んだ。2018年3月期は既存事業の好調が業績に貢献したが、中長期でさらに拡大していく見通しは低いと見ている。引き続き研究開発やM&Aに積極的に取り組む計画によって新規事業を加速させていくことが、今後の成長の鍵となるだろう。

(文責: 株式会社フィスコIR)

# 株主さまとともに

## 株式の状況 (2018年3月31日現在)

発行済株式総数 ..... 139,628,721株

株主数 ..... 10,907名

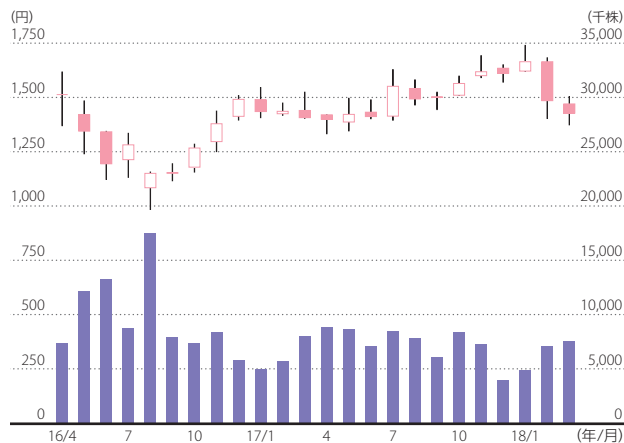
### 大株主の状況(200万株以上)

株主名	株式数 (千株)	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	9,544	6.83%
株式会社りそな銀行	6,319	4.52%
NORTHERN TRUST CO.(AVFC)RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	6,016	4.30%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,369	3.84%
ノーザントラストカンパニー エイブイエフシー リューエス タックス エグゼンプテッド ペンション ファンズ	5,366	3.84%
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	4,274	3.06%
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,248	3.04%
朝日生命保険相互会社	3,305	2.36%
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE SSD00	2,906	2.08%
牛尾 治朗	2,836	2.03%
公益財団法人ウシオ財団	2,400	1.71%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	2,319	1.66%
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー) アカウント ノントリーティ	2,318	1.66%
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505103	2,212	1.58%
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505001	2,186	1.56%

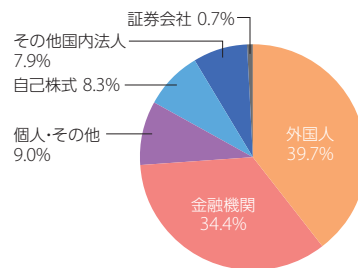
※上記のほか、自己株式が11,573千株あります。なお、自己株式11,573千株には、役員向け株式報酬信託制度に係る信託が所有する当社株式292千株を含んでおりません。

※大株主上位に記載されている各信託銀行は、主に国内機関投資家が保有する有価証券の管理事務を行っており、当該機関投資家の株式名義人となっているものです。また信託口とは、当該機関投資家から年金信託、投資信託、特定金銭信託等の信託を受けている口座を指します。

### 株価の動き/株式売買高



### 株式の分布状況





## 株主メモ

証券コード	6925
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 その他必要があるときはあらかじめ公告いたします。 なお、中間配当制度は採用しておりません。
1単元の株式数	100株
公告掲載URL	<a href="http://www.ushio.co.jp/kokoku">http://www.ushio.co.jp/kokoku</a> ※やむを得ない事由により上記URLにおいて公告することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人  
および特別口座  
管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

〈郵便物送付先〉 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

〈電話照会先〉 **0120-782-031** (フリーダイヤル)

### 各種お手続きに関するお問合せ先

お問合せの内容	一般口座 (証券会社の口座に記録された株式)	特別口座 (証券会社に口座のない株式)
<ul style="list-style-type: none"> <li>住所・氏名等の変更</li> <li>単元未満株式の買取請求</li> <li>配当金の受取方法の指定</li> <li>相続</li> </ul>	お取引の証券会社	三井住友信託銀行
<ul style="list-style-type: none"> <li>一般口座への振替</li> </ul>	—	
<ul style="list-style-type: none"> <li>支払期間経過後の配当金</li> </ul>	三井住友信託銀行	

### 「配当金計算書」について

配当金支払いの際に送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主さまにつきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社などで行います。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引のある証券会社などにご確認をお願いいたします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主さまにつきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をされる株主さまは、大切に保管ください。

# 会社概要

設立 1964年3月  
資本金 19,556,326,316円

役員(2018年6月28日現在)

代表取締役会長	牛尾	治朗
代表取締役社長	浜島	健爾
取締役	牛尾	志朗
取締役	伴野	裕明
社外取締役	原	良也
社外取締役	金丸	恭文
社外取締役	橘・フクシマ・咲江	
取締役 (常勤監査等委員)	小林	敦之
社外取締役 (監査等委員)	米田	正典
社外取締役 (監査等委員)	山口	伸淑

従業員数(2018年3月31日現在)

ウシオ電機本体	1,590名
国内グループ計	873名
海外グループ計	3,384名
合計	5,847名

発行:ウシオ電機株式会社 経営企画部  
〒100-8150 東京都千代田区丸の内1-6-5  
TEL: 03-5657-1007 FAX: 03-5657-1020

 <http://www.ushio.co.jp>



公式facebook

<https://www.facebook.com/ushio.group/>



この印刷物は、環境に優しい用紙と、ベジタブルインキを使用しています。

## オフィシャルウェブサイトもご利用ください

### 投資家情報

社長メッセージや決算資料など、さまざまな情報を掲載しています。



<http://www.ushio.co.jp/jp/ir/>

### CSR・環境

環境保全、社会貢献、安全への取り組みなど、さまざまな情報を掲載しています。



<http://www.ushio.co.jp/jp/csr/>